



東京都立水元小合学園

肢体不自由教育部門

就業技術科

就業技術科・肢体不自由教育部門 合同防犯訓練を実施しました。



教員がさすまで不審者を
とりおさえる訓練です。
児童・生徒は、教室で鍵を
かけて静かにしています。

体育館でビデオを見ながら、どんなことが起こっていた
のかを全児童・生徒・教職員で確認をしました。



不審者役をさせていただいた
警察官のお話を聞きます。

10月22日（月）、亀有警察署の御協力を得て、就業技術科・肢体不自由教育部門合同での防犯訓練を実施しました。不審者に扮した警察官が本校へ侵入し、教職員の挨拶を振り切って校舎の中に入り、教室に向かおうとするという想定での訓練でした。内線電話で教職員が連絡しあったり、教員の指示のもと児童・生徒は教室の中に入って鍵をかけたりして、安全を守る練習をしました。

訓練の後、第一体育館に就業技術科・肢体不自由教育部門の全児童生徒と教職員が集まり、ビデオにおさめた不審者侵入の様子を見ながら、訓練の振り返りをしました。

就業技術科の生徒も、肢体不自由教育部門の児童・生徒も、画面をよく見て、生活指導部教員の解説や亀有警察署の方の助言をととてもよく聞いていました。最後に就業技術科の2年生が児童・生徒を代表し、「名札をつけていないあやしい人をみかけたら、すぐに先生に報告します。今日はありがとうございました。」とお礼を言いました。

今年度3回の就業技術科・肢体不自由教育部門合同の避難訓練がこれで終了しました。これからも安心・安全な学校づくりに向けて、また、児童・生徒の日々の生活につながる防犯・防災学習、安全学習について、学校が一丸となって取り組んでまいります。

